

---

# おかしな世界

渦道

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

おかしな世界

### 【Nコード】

N4161R

### 【作者名】

渦道

### 【あらすじ】

世界がおかしいのか、私がおかしいのか。そんな自問自答。

**(前書き)**

この話はフィクションです。  
作者は男ですし、弟もいません。  
中二病な感じですが。

フィクションです

弟が死んだのは去年の話だ。寒い寒い冬の日、弟は病気で死んだ。雪の中行われた葬儀は、

私の十四年の人生で一番泣いた日になった。

それからしばらくの間はみんな気を落とすなとか、大丈夫か？とか言ってくれた。

でもそれは当然一時の話で、三学期が終わり新学年になってからはほとんど言われなくなった。

おかしくなったのはそれからしばらくたった梅雨頃からだ。ある日、弟の死を知らなかった人、

つまり別のクラスだった人が私を指差してこう言った。

「あの子の弟、死んだのよ？」

別に、それ自体はおかしなことではなかった。

話の流れでそこにたどり着くこともあるだろうから。

でもそれは一度や二度のことでは無かった。

週一回くらいでその話題は発生し、私に指を指す。

話の流れだけでそんなことは起こりえないはずだ。

じゃあ、なんで？ そう考えたとき、一つの答えが浮かぶ。

退屈で話題が無いから、人の死っている刺激のある話題を無意識に出してしまうんだ。

梅雨で外に出れない。

だから丁度いい話題を探す。

それに気がついたとき、私はゾツとした。

この世界は、なんておかしいことになっているんだらう。

それからの日常生活は今までと変わらないもののはずなのに、まったく違ったものに見えた。

一日をゲームで潰す人。

人を騙して、脅して金を取る人。

人を馬鹿にして笑う人。

本当に短い人生なのに、何でみんなそんなおかしい使い方するんだらう。

弟みたいに生きたくても生きられなかった人もいるのに、なんでちゃんと生きれる人が命を無駄に使うんだらう。

それとも、私の感覚がずれているのかな？

命は無駄に使うのが普通で、弟みたいに早死にしちゃった人は損しただけ、これが普通なのかな？

ここがおかしいのか、私がおかしいのか、どっちなんだらう。

(後書き)

感想もほしいですが、アドバイスもくれたら幸いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4161r/>

---

おかしな世界

2011年10月8日20時28分発行